事例No.	2099
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	秋田県大仙市

事例区分	DX

タグ	・観光 ・ICT ・EBPM

事例種類	観光

事例内容・タイトル

デジタルを活用して地域の魅力を発見するスタンプラリーを実施

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

119 デジタルを活用して地域の魅力を発見するスタンプラリーを実施【秋田県大仙市】

事業の概要

○　大仙市では、地域の観光資源や観光名所を巡りその魅力に触れてもらうことを目的として、デジタルスタンプラリーを開催している。

○　コロナ禍により、県外の参加者の割合が低くなることを想定し、地域の方向けに興味を持っていただける内容に変更するなどの工夫をし、楽しんで地域を巡ってもらえる仕掛けをしている。

○　デジタルを活用したスタンプラリーを実施することにより、参加者は、非接触による感染症対策に加え、スタンプの収集からアンケート回答、プレゼント応募までをスマホアプリ上でワンストップで行うことができる。





【参考情報】 人口：7.9万人
関連URL：https://www.city.daisen.lg.jp/docs/2021090300038/
（市HP）

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）　取組の経緯・きっかけを教えてください。



（大仙市）　参加者ご自身のスマホやタブレットを活用し、スタンプ収集からプレゼント応募までをワンストップで行うことができるため、手軽に参加することが可能になると考えました。また、参加者のステータス（年齢、居住地など）をデータで取得することができ、新たな観光施策を検討するためのエビデンスとして活用することが可能で、参加者と主催者双方にとってメリットが大きいと考えたため、実施することとしました。



参加者の反応（声）はいかがですか？



アンケートにご回答いただいた方のほとんどに良い印象をもっていただくことができました。具体的には、「このスタンプラリーをきっかけに知った施設もあり楽しかった」、「時期を変えて再訪問したい」と言ったご意見をいただき、地域の魅力の発掘・発見に繋がりました。また、お土産等グッズの充実を希望する声もあることから、今後の課題の発掘にも繋がりました。

★担当：大仙市観光文化スポーツ部 観光振興課★

令和3年度事業費　3,110千円